

問題提起

第 17 分科会 薬と社会－薬からみた医療・社会保障の問題を掘り起こそう！

運営委員 菊池 環（長野県厚生連労組 佐久総合病院）
宮地 典子（社会医療法人社団 国分寺ひかり診療所）

助言者 片平冽彦（健和会 臨床・社会薬学研究所）

超高齢化社会に向けて、社会保障に関わる制度や規制の改革が進められる一方、医療の高度化、複雑化などによる医療費の適正化が課題となっています。

また、薬剤師には薬剤の調整などの対物中心の業務から、患者、住民とのかかわりの高い対人中心の業務に転換すると共に、医薬品や衛生材料等の供給拠点として機能することで、地域医療提供体制に貢献することが求められています。

薬物療法を効率的、効果的に提供し、地域包括ケアシステムの中で多職種と連携・協働して、地域住民の生活を支援する地域社会のリソースとして、国民の健康寿命の延伸に貢献していくことは、薬剤師が果たさなければならない重要な使命です。

本分科会では下記のような幅広い分野でのレポートを募集します。

かかりつけ薬剤師、
薬薬連携、
認知症・在宅医療における服薬支援、
薬害問題、
医薬品評価、
ポリファーマシー・残薬問題、
経済的困難による中断や無料低額診療への対応

等、

第 17 分科会では薬剤師活動や現場の問題について、実態や経験を持ち寄り、交流し、レポートの報告を中心に討議をしています。是非とも皆さんの積極的なレポート報告とご参加をお待ちしております。